

元気ハツラツ！みんなが歩いた さあ！長崎大会を成功させよう！



歓迎！！新入会員のみなさんです

ともに平和の声を大きく広めていきましょう。

- 田所 みや子（太田町）
- 増田 美和子（笠間市）

各平和委員会・平和の会からの仲間づくりをおまちしています。

「鹿嶋市にある戦跡学習会」

鹿嶋九条の会 木村 泉

「鹿嶋九条の会」では、六月七日に中央公民館で、五十人余が参加し、「鹿嶋市の戦跡学習会」を行いました。

事前の五月二十四日（日）、世話人会メンバーで、鹿嶋市に残っている掩体壕（残されていたのは一基のみ。壕内に人間爆弾で有名な「桜花」が格納してある）、北浦（潮来側）の水上飛行艇訓練施設跡等を調査しました。調査をもとに、事務局長がパワーポイントで解説しました。

「七三一部隊」を朗読後、八十歳代の男性二人が戦争体験を語りました。

お一人は、「桜花（おうか）」の実践訓練を受けた方でした。最初、土浦航空隊に所属し、爆撃が激しくなってから、鹿嶋で訓練を受けましたが、後に秋田に移動しました。出撃前に敗戦となりました。「戦争は絶対にすべきでない」と言います。意見交換も活発に行なわれ、予定時間をオーバーしてしまいました。

カンパのお礼に、端切れを利用した手作りのタペストリーやテーブルセンターなど用意したところ多くの協力があり、今後の取り組みのエネルギーとなりました。

県内通し行進の感想 阿見平和の会会長 中山熙之

「お疲れ様」とか「大変でしたね」とよく言われる。が、無事に終えられたのは、歩こうという意思を支える皆さまのご援助があったから。集会と行進の準備、休憩時に合わせた飲食物の提供、宿の手配といった、地域の皆さまのご努力があって、初めて通し行進がやりぬけた。特に宿泊代。これが個人負担なら、歩き通そうという意欲自体が殺(そ)がれたらどう。

さて総括。今回の行進で目指した最大の目的は、「政府がそっぽを向く原水禁運動に未来があるか」すなわち国民の支持があるかどうかの確認。結果は……以下をご覧あれ。

頭をガンと殴られるような出会いが相次いだ。例えば豊田一子さん。退職後、1991年から17年間、毎年長距離コースを通して歩かれた。とんでもない人がいたものだ。たとえば、大洗。行進団を追いかけて、「広島に届けて」と折り鶴を渡してくれたご婦人が次々に5人。飲み物やお菓子を差し入れてくれた方が2人。北茨城市では、休日の早朝集會に副市長がわざわざ出向いて激励してくれただけでなく、一緒に行進までしてくれた。例えば藤沢先生81歳？。失礼ながら背骨が曲がった体で、石岡から竜ヶ崎までのきついコースを歩き抜かれた。「オバマの演説は偶然ではない。世界の核廃絶の流れを受けての表明だ。その流れを確かなもののできるチャンスが来年のNPT。だから、来年、NPTの前日ニューヨークで開かれる平和行進に参加する。」と訴える声が力強い。書ききれないが、そのほかにも色々の出会いがあった。参加者には、私利私欲のためでなく、心から平和を願って行動している純粋な人が多く、接していて気持ちが良かった。戸惑ったのが挨拶の多さ。予

期していないタイミングで振られて、最初はおたおた。初日には、声が小さいとか「指導」を受けた。だが、場数を踏むうちに慣れてきた。最後の頃には図々しくなって、歓迎集会を開いてくれた自治体に、お礼の挨拶の中で、新たな要請を出したりもした。たとえば「世界平和大会に児童生徒を派遣して頂くように行進団を代表してお願いする」とか、「通しで歩いていると、ほとんどの庁舎に平和宣言の垂れ幕があって元気が出る。来年はこの庁舎でも垂れ幕が見たい」とか。

以上挙げたようなことを通じて、平和を真から願う人が大勢いること、国民にも自治体にも理解と支持が深まっていることを実感した。

また、しょっちゅう話をさせられるので、否応なしに情勢認識が深まった。たとえば、オバマ大統領の「核兵器のない世界を目指す」との演説と、米口核軍縮の合意。それを受けた軍部の「弾頭が減っても威力は減らない」ように努める動き。そんな似非（えせ）軍縮にごまかされてはならない。全世界同時に核廃絶条約を結ばせる運動を強めなければ。署名活動がことさら重要になる。そういうことが見えてきた。これも大きな収穫だった。（より詳しい報告は、茨城県原水協2009年総会議案書12～13頁をご覧頂きたい）以上



平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

No.538
月3回発行
2009.7.25



茨城における非核自治体宣言の市町村

〈茨城県〉

- ・自治体数 44
- ・「宣言」自治体数 33
- ・「宣言」率 75%
- ・斜線部分はまだ「宣言」されていない自治体

〈全国〉

- ・自治体数 1845
- ・「宣言」自治体数 1497
- ・「宣言」率 81.1%

(H21年7月1日現在)

